

三菱浴室用換気扇（強制排気・自然給気タイプ） 壁据付専用

形名 V-13B7・V-13BD7・V-13BS7・V-13BSD7

取扱説明書

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- お客様自身では据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

お客様用

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

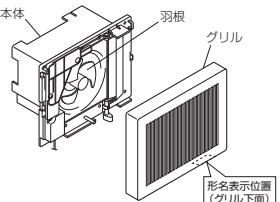
本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区別して説明しています。

警告	注意
<p>●内釜式風呂を設置した浴室では使用しない排気力が浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</p> <p>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない。爆発・引火の原因。</p> <p>●本体各部に直接水やお湯、かび取り剤をかけたショートや感電の原因。</p> <p>●改造や工具を必要とする分解はしない。火災・感電・けがの原因。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。</p> <p>●異常、故障時は、直ちに使用を中止する。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 （異常、故障例） ●スイッチを入れても羽根が回転しない。回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 （モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ●こびりついてお掃除がしにくい。 ●本体取付部に腐食・変形等がある。等 ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。</p> <p>●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る感電やけがの原因。</p> <p>●電源プラグの刃および羽の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く火災の原因。</p>	<p>●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない。本体・部品の落下によるけがの原因。</p> <p>●高温（40℃以上）になる場所や直接炎のあるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない。火災の原因。</p> <p>●塩害・温泉害の発生している場所では使用しない。本体・部品の落下によるけがの原因。</p> <p>●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない。けがの原因。</p> <p>●お手入れの後の据付けは確実に行う。落下によるけがの原因。</p> <p>●お手入れの際は手袋を着用する。着用しないとけがの原因。</p> <p>●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p> <p>●電源プラグを抜きとき、必ず電源コードを持って先に先端の電源プラグを持って引き抜く。ショートによる発火や感電の原因。</p> <p>●交流100Vを使用する。直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。</p> <p>●アースが取付けられているか確認する。故障や漏電のときに感電の原因。アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください。</p>

2.各部のなまえ



3.使用前のお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変形、変色、塗装はがれや故障の原因）
- 風圧式シャッターは、急激なドアの開閉や外風の強い時などには、シャッター閉じ音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

4.使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止を行います。（V-13BS7、V-13BSD7は引きこもスイッチ）

給気ダンパーの使い方

通常の使用時は給気ダンパーツマミを「アケル」に回してご使用ください。
冬期、冷気侵入が気になる場合は、給気ダンパーツマミを「シメル」の方向に回します。
給気ダンパーが開まり冷気侵入を防止します。

上手な使い方

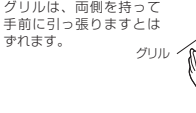
入浴後、湯を落とすか「ふた」をして換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。
……結露、かびの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。

5.お手入れ

グリル、本体、羽根にほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のため点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

グリルをはずします



汚れを取ります

- グリル、本体、羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

お手入れ後の据付けと確認をします

1. グリルを確実に据付けます。
2. 電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認してください。
3. 給気ダンパーの開閉がスムーズにできるか確認してください。

お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- モーターなどの電気部品は直接水にぬらさないでください。（絶縁不良、感電の原因）
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力を加えない。（異常音発生の原因）

6.修理を依頼する前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店または、工事店にお申し付けください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか 羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	据付け直します 清掃します
シャッターが開かない・閉じない	電源電線、ウェザーカバーの仕切板がシャッターに当たっていませんか	販売店または工事店へご相談ください
シャッターがばたつく	外風の影響によって発生する可能性があります	無風状態を確認します

- モーターの軸受は回転がなして時間が経つにつれ、音が変わることがありますが異常ではありません。

7.アフターサービス

●修理を依頼されるときは

- 修理料金は技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱浴室用換気扇
2. 形名 ○○-○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. ご住所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

●ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店下記「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

●ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守、工事および製品の取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本格的な修理・保守に必要と認められる限り、①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合があります。②お客様ご自身の同意なく個人情報を第三者へ提供することはありません。③個人情報に関するご相談は、お問合せをいただいた窓口にご連絡ください。

三菱電機換気送風機技術相談センター ■ご相談対応 平日（土・日・祝日を除く）9:00~12:00 13:00~19:00
0120-726-471 (無料)
携帯用電話：PHS対応 三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料) フリーダイヤル 0120-139-365 (無料)

●修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

三菱電機修理受付センター ■お買上げの販売店・施工者・設備業者へ
0120-56-8634 (無料)
http://www.melco.co.jp
携帯用電話：PHSの場合 TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)

●補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8.仕様

形名	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-13B7	3.5	4.1	125	130	28	29.5	0.89
V-13BD7							0.85
V-13BS7							0.90
V-13BSD7							0.86

※特性はJIS C 9603に基づく

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により故障の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】 15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件	電圧	周波数	湿度	設置条件	標準設置	標準設置
	電圧 100V	50Hzおよび60Hz	20℃	65%	JIS C 9603から引用	JIS C 9603から引用
負荷条件	定格負荷	換気時間*	年間使用時間	浴室設置	据付説明書による	仕様による
想定時間	年間使用時間	換気時間* 台所 2410時間/年 居室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴室 1671時間/年	年間使用時間	浴室設置	据付説明書による	仕様による

（設計上の標準使用期間とは）
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件（左表による）に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて左記の想定期間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。
●「経年劣化」とは長期にわたる使用や設置に伴い生ずる劣化をいいます。

注*) 24時間換気の場合は、8760時間/年とします。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありますか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- （モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こびりついてお掃除がしにくい。
- 本体据付部に腐食、破損等がある。

使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店へご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

形名

お買上げ年月日 年 月 日

お買上げ店名 (住所) (電話番号)

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

据付けを始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- 本製品は浴室用です。それ以外の用途には使用しないでください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を据付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。（V-13BS7、V-13BSD7は引きひもスイッチ付です）

1.安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けしないでください。（製品の変質やモーター焼損の原因となります）
- 塩害・温泉害の発生している場所には据付けしないでください。（故障の原因となります）
- 外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設けてください。（室内が酸欠状態になる原因となります）
- 電源電線はVVFφ1.6の2芯をご使用ください。

2.各部のなまえと外形寸法図

- 各部のなまえ ⇒ 裏面の取扱説明書の「2.各部のなまえ」をご確認してください。
- 外形寸法図 ⇒ 梱包箱をご確認ください

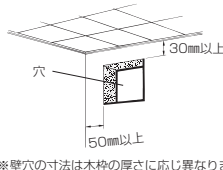
3.据付前のお願い

壁穴について（壁据付専用）

1. 木枠を据付ける壁穴をあける

壁穴は天井や左右の壁から右図のように離してあけてください。グリルの据付けができません。

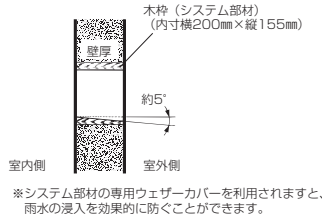
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。
- ウェザーカバーによっては据付位置に制約を受ける場合があります。ウェザーカバー同梱の据付説明書の指示に従い、壁穴をあけてください。



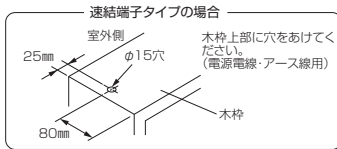
※壁穴の寸法は木枠の厚さに応じ異なります。

2. 板厚15mm以上の板で木枠を作る

- 木枠の内寸は横200mm×縦155mmにしてください。（内寸横200mm×縦155mm）
- 雨水の浸入を防ぐために、木枠の下部（室外側）に約5°の傾斜をつけてください。（システム部材の木枠W-121を利用されると便利です）

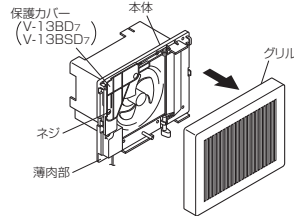


※システム部材の専用ウェザーカバーを利用されますと、雨水の浸入を効果的に防ぐことができます。



4.据付方法

1. 本体からグリルをはずす



2. 結線をする

⚠ 警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
- アース線を確実に取付け（D種接地工事）、漏電遮断器を設ける故障や漏電のときに感電の原因。

⚠ 注意

- 電気工事は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

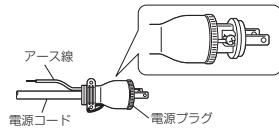
■電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組み合わせて結線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は、雨の当たらないところに設けてください。
- 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはずさないように配線してください。

電源コードタイプ (V-13B7、V-13BS7) の場合

電源コンセントを屋外に設ける場合

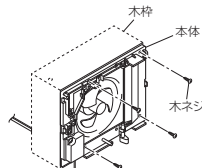
- 1) 本体より出ている電源コードと付属の電源プラグを接続する
 - アース線は折り返して電源プラグの外に出します。
- 2) 本体を木枠に差し込む
- 3) アース工をする（D種接地工事）
- 4) 電源プラグをコンセントに差し込む
 - コードがシャッターに当たらないように注意してください。



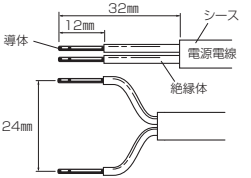
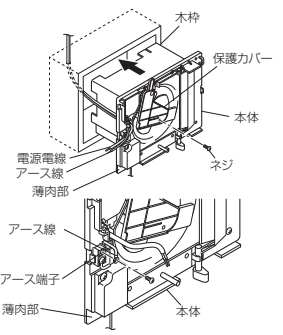
お願い

- コンセント取付用ボックス（市販品）はJIS C 8940に規定の製品をご使用ください。

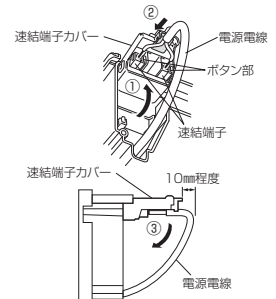
- 5) 梱包箱の外形図でネジ穴を確認し、付属の木ネジ4本で本体を木枠に固定する
 - 木ネジが本体枠からはみ出さないように据付けてください。



- 1) 保護カバーのネジをはずす
- 2) 電源電線・アース線を木枠の穴に通して本体に通し、本体を木枠に差し込む
 - 電源電線はVVFφ1.6の2芯をご使用ください。
 - ※製品の取替え対応では、必要に応じて本体の薄肉部を切り取ってください。
- 3) アース端子にアース線を接続し、アース工をする（D種接地工事）
- 4) 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきをする
 - 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。
- 5) 電源電線の先端を手で曲げ、速結端子の幅にあわせて広げる

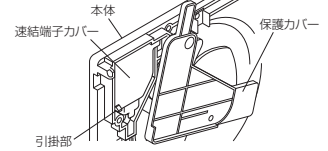


- 6) 結線をする
 - ①速結端子カバーを（右図のように）開ける。
 - ②電源電線を速結端子に差し込む。
- 7) 速結端子カバーを閉じる
 - ③（右図のように）速結端子カバー口元から約10mm程度の電源電線を手で曲げ、壁内へ押し込みながら速結端子カバーを閉じる。
 - 電源電線がシャッターに当たらないように注意してください。

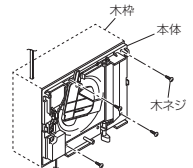


※本体の引掛部に確実に固定されているかを確認する。

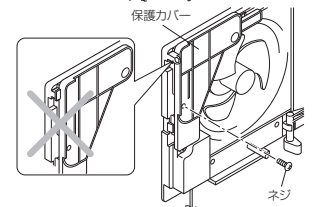
- 8) 本体の引掛部に確実に固定されているかを確認する
 - 本体の引掛部に確実に固定されているかを確認する。
- 9) 余ったアース線をシャッターと干渉しないように木枠側に押し込む
 - アース線に無理な力が加わらないようにしてください。



- 10) 梱包箱の外形図でネジ穴を確認し、付属の木ネジ4本で本体を木枠に固定する
 - 木ネジが木枠からはみ出さないよう据付けてください。
 - 木枠内の電源電線保護のため、本体を木枠右側に寄せて据付けてください。



- 11) 保護カバーを元の位置に戻し、確実にネジで固定する
 - ※保護カバーが乗り上げ、浮きがないか確認する。



お願い

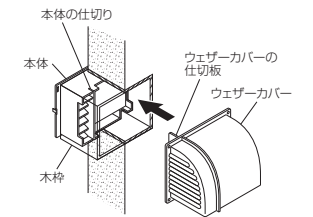
- 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源電線は軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。
- 保護カバーを本体から取りはずさないでください。

3. システム部材のウェザーカバーを据付ける

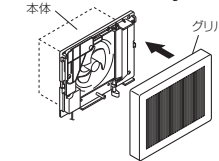
- ウェザーカバー同梱の据付説明書の指示に従い、ウェザーカバーを据付けてください。

お願い

- 専用ウェザーカバーP-12CVPと組み合わせる場合は、本体背面の仕切りにウェザーカバーの仕切板を入れてください。



4. グリルを本体に据付ける



5.据付後の確認

本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6.試運転

お客様立ち会って試運転を行ってください。

- 製品が運転・停止するか、また、異常な音・振動などがいないか確認する。

7.お客様への説明

裏面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様または発注者（オーナー、ゼネコン）や管理者へ説明してください。